

高橋なんぐの笑いに学ぶ講演会 報告記

平成28年 5 月14日（土）

PTA総会に先立ち、高橋なんぐ様から、保護者の皆様に肩のこらない、子供との接し方、子供に元気を与える方法などをお話しいただきました。とにかく、あっという間の50分でした。以下に紹介します。



【本題に入る前】

気分をほぐすため、じゃんけんゲームです。最初は私が出す手の形と、同じ形を「ポン」といいながら出します。では、行きますよ。

次に、私の手に勝つ、グーチョキパーを「ポン」と出してください。行きます。あれ、パアの指が何かつかむみたいに曲がってる人いますね。

最後は、私の手に負ける形を出してください。負ける形は結構難しいですよ。

かなり盛り上がりましたね。

【本題】

相手に自分の考えを伝えるには、とにかく「言い方」が大切です。怒りにまかせて言っても、相手に響きません。我々芸人は、しゃべくりが商売ですので、相手に応じて効果ある言い方は、得意なのかも。

皆さんがご自分の子どもさんに、何か教える時、ついいらだった調子で言ってませんか。一呼吸おいて、子どもの立場なって、言うてみてはどうでしょう。そして、くどくないのが大切です。



【最後はタイの実話によるCMを紹介】

ある食料店で貧しい少年が盗みを働き店員に捕まる。引き出された少年を見て、店長は、この盗みは貧しい家族のためだと気付く。そこで店長は、その食料品を全て少年に与え、二度とするなと諭す。

そして三十年後、老いた店長は病に倒れ、手術を受ける。一命を取り留めるが、莫大な治療費（日本円で270万円）を病院から請求され、看病の娘と途方に暮れる。ところが、払ってもない治療費の領収書が店長に届く。そこにはこう記してあった。『治療費はご心配にはおおよびません。すでにあなた（店長）から三十年前にいただいております。院長。』

私はこのCMが好きで、講演の終わりに流しています。ご静聴ありがとうございました。